

感染症情報 9月17日～23日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①RSウイルス感染症	598例(堺市	57例)
②感染性胃腸炎	586例(堺市	24例)
③溶連菌感染症	266例(堺市	52例)
④ヘルパンギーナ	202例(堺市	18例)
⑤手足口病	158例(堺市	8例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	40例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は祝日を含む影響もあり、前週比10.7%減の2,094件であった。

報告の第1位はRSウイルス感染症となった。以下感染性胃腸炎、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病の順であった。

RSウイルス感染症は府下で前週より10%減、堺市で58例→57例はほぼ同数であった。感染性胃腸炎は府下で前週より18%減、堺市では前週より25%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より6%減、堺市では前週44例→52例(18%増)であった。ヘルパンギーナは府下で前週より19%減、堺市で19例→18例であった。手足口病は府下で前週より18%増、堺市では前週14例→今回8例であった。

インフルエンザが府下で前週47例に増えていたが、今回は40例であった。堺市は3例→0例であった。

麻疹の報告が府下で1例あり、風疹が5例あった(うち堺市で1例あり)。